

〈令和 8 年 9 月 28 日（月曜日） vol. 459〉

〜〜〜〜 トピックス 〜〜〜〜

☆ 燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口の設置について

政府においては、燃料油や石油製品等の供給について、備蓄放出や燃料油の激変緩和措置を含めて、万全の体制をとっているところですが、流通や取引の状況に影響が及ぶ場合に備えて、事業者の皆様からの情報を受け付ける相談窓口を設置しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/260331.html>（プレスリリース）

☆ 中東情勢関連対策ポータルについて

中東情勢を踏まえた農林水産分野における対応状況に関する資料を掲載しています。

https://www.maff.go.jp/chuto_josei.html

☆ 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）について

2027 年国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的としています。

開催場所：旧上瀬谷通信施設の一部（横浜市）

開催期間：令和 9（2027）年 3 月 19 日～9 月 26 日

博覧会区域：約 100 ha

参加者数：1,500 万人（ICT 活用等の多様な参加形態を含む）

有料来場者数：1,000 万人以上

テーマ：幸せを創る明日の風景（Scenery of the Future for Happiness）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/expo2027.html>

<https://expo2027yokohama.or.jp>（開催主体「2027 年国際園芸博覧協会」のウェブサイト）

○GREEN×EXPO 2027 開幕に向け飲食店と連携した「GREEN TABLE キャンペーン」を実施

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kaki/260918.html>

☆ アフリカ豚熱（ASF）について

アフリカ豚熱（ASF）は、豚や野生イノシシが感染する致死率の高い家畜伝染病です。ウイルスに汚染された豚肉や豚肉加工品の給与、感染した豚やイノシシとの接触などにより感染が拡大します。特に野生イノシシでは、水場での接触が感染拡大の要因となることがあります。

有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合には養豚業に深刻な影響を及ぼします。このため、家畜伝染病予防法に基づき、発生時には速やかな届出と防疫措置が義務付けられています。

我が国ではこれまで発生は確認されていませんが、アフリカ、ロシア、アジアの一部地域では発生が確認されています。海外からの侵入を防ぐため、引き続き飼養衛生管理の徹底など、発生予防に努めることが重要です。

なお、アフリカ豚熱は豚・イノシシの病気であり、人に感染することはありません。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

☆ 令和 9 年度農林水産予算概算要求について

農林水産省は、令和 9 年度農林水産予算概算要求を取りまとめ、公表しました。

「強く豊かな日本」投資枠（4,272 億円）も活用し、総額 3 兆 1,377 億円を要求しています。農林水産業の持続的な発展や食料安全保障の強化に向けた各種施策の推進を図る内容となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/260831.html>（プレスリリース）

○令和 9 年度農林水産予算概算要求説明動画

令和 9 年度農林水産予算概算要求に関する説明動画に加え、各動画に対応した参考資料を掲載しておりますので、是非ご活用ください。

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/budget/movie_r9yokyu.html#syouan

《 新着情報 》

◇ 「日本スタートアップ大賞 2026」の受賞企業が決定しました

「日本スタートアップ大賞 2026」において、317 件の応募の中から 10 社が各賞を受賞しました。農林水産大臣賞（農業スタートアップ賞）には、植物工場で世界初となるいちごの安定量産とビジネスモデル化を実現した「Oishii Farm 株式会社」が選ばれました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/260925.html>（プレスリリース）

◇ 令和 8 年度畜産環境シンポジウムの開催について

令和 8 年 10 月 21 日（水曜日）に、畜産の臭気対策や堆肥の生産・流通事例等を紹介する「令和 8 年度畜産環境シンポジウム」を、会場参加とオンライン配信のハイブリッド形式で開催します。

参加を希望される方は、参加申込み方法等を御確認のうえ、お申し込みください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_sinko/260925.html（プレスリリース）

◇ 特定農林水産物等の名称の保護に関する法律に基づく措置命令について

農林水産省は、地理的表示「越前がに」の不正表示を確認し、福井県越前町に対し、表示の除去・抹消や再発防止策の実施等を命じました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/260924.html（プレスリリース）

◇ 令和 7 年産米の相対取引価格・数量の公表について（令和 8 年 8 月）

農林水産省は、「令和 7 年産米の相対取引価格・数量（令和 8 年 8 月）」について取りまとめましたのでお知らせします。

全銘柄平均価格等は以下のとおりです。

＜全銘柄平均価格・合計数量＞

相対取引価格 31,556 円/玄米 60kg 税込（対前月比 97%）

相対取引数量 57,260 玄米トン（対前月比 73%）

滋賀県産の主要品種銘柄別データなどの詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260918.html>（プレスリリース）

◇ 米に関するマンスリーレポート（令和 8 年 9 月号）の公表について

需要に応じた生産・円滑な米取引に資するよう、米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート（令和8年9月号）」が公表されましたのでお知らせします。

今月号では、「令和8年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の平均比見込み」、「米の基本指針(令和8年9月2日公表)のポイント（玄米ベース）」を特集しています。詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/260918_1.html（プレスリリース）

◇ 「農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージ」を改訂し、「農林水産分野 GX 技術海外展開パッケージ」として公表について（通称：MIDORI∞INFINITY, ミドリ・インフィニティ）

農林水産省は、令和7年5月に策定した「農林水産分野 GHG 排出削減技術海外展開パッケージ」を改訂し、GX 技術とその海外展開を後押しする「農林水産分野 GX 技術海外展開パッケージ」として公表しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/b_kankyo/260917.html（プレスリリース）

◇ いわて門崎丑牧場有限会社における牛の個体識別番号の不適正表示に対する措置について
農林水産省東北農政局が、いわて門崎丑牧場による牛肉の個体識別番号の不適正表示を確認しました。

牛トレーサビリティ法に基づき、表示の是正、原因究明、再発防止対策の実施等について勧告を行いました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/260916.html>（プレスリリース）

◇ 第1回日豪食料安全保障対話について

令和8年9月15日、農林水産省と豪州農業・水産業・林業省は、第1回日豪食料安全保障対話を開催しました。

対話の冒頭では鈴木大臣が挨拶し、両国の食料安全保障の強化に向け、更なる連携を進めていくことを確認しました。

対話終了後、両国は共同声明を発出しました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chiiki/260915.html（プレスリリース）

◇ 外国法人等による農地取得に関する調査の結果について

農林水産省は、令和7年における外国法人等による農地取得の状況を取りまとめました。

令和7年の取得面積は222haで、平成29年からの累計は731haとなっています。

農地法では、投資目的での農地取得は認められておらず、外国人による取得の大半は国内居住者によるものです。引き続き、農地法の適切な運用により、農地の適正な利用を確保していきます。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/seisaku/260915.html>（プレスリリース）

◇ 株式会社新開産業における牛の個体識別番号の不適正表示に対する措置について

農林水産省近畿農政局は、株式会社新開産業（兵庫県神戸市）が、特定牛肉について、事実と異なる個体識別番号を表示した、または個体識別番号を表示せずに販売する事例があったことを確認しました。

これを受け、同社に対し、牛トレーサビリティ法に基づき、表示の是正に加え、原因の究明・分析の徹底や再発防止対策の実施等について勧告を行いました。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/hyouzi/260915.html> (プレスリリース)

◇ 「近畿シン（新・深・進・親・真）農泊報告&交流会 共に学び合う 1泊2日」の開催について

近畿農政局は、農泊実践者同士のネットワーク強化や先進事例・ノウハウの共有を目的とした「近畿シン農泊報告&交流会」を開催します。現地視察や体験プログラムも実施し、実践現場ならではの学びを深める機会を提供します。

日時 ・11月5日（木）13:00～17:00 ・11月6日（金）9:00～13:00

会場 ・全体会：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場（兵庫県淡路市）

・交流会・ワークショップ：ウェルネスパーク五色（兵庫県洲本市）

対象 農泊実践者、農泊に関心のある方、行政関係者、学生等

定員 180名（先着順）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/260910.html> (プレスリリース)

◇ 令和8年度 和食・食文化セミナーの開催及び参加者募集について

近畿農政局では、11月3日（火・祝日）に、甲南女子大学において、「お雑煮」と「お餅」をテーマとした和食・食文化セミナーを開催します。

基調講演では、お雑煮やお餅の歴史、地域ごとの特色などを学び、調理実習では実際にその魅力を体験していただきます。

和食や日本の食文化に興味のある方は、ぜひご参加ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

募集人員 12組（24名）（先着順）

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keiei/tiiki_syokuhin/260910.html (プレスリリース)

◇ 農林水産省「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム第4回シンポジウムの開催について

農林水産省は、10月23日（金）に第4回シンポジウムを開催します。今回は「農山漁村に広がる共創の輪 ～多様な主体がつながる協働の実践～」をテーマに、自治体や企業の実践事例を紹介するとともに、AI やスポーツ分野との連携など新たな可能性について議論します。ぜひご参加ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260911.html> (プレスリリース)

◇ 消費者参加型イベントにおける食品安全に関するブース出展について

農林水産省は、消費者庁、食品安全委員会、厚生労働省及び経済産業省と連携し、東京都・大阪府・愛知県で開催されるイベントにおいて、食品安全に関する普及啓発を実施します。子育て世代やその子どもたちをはじめ、幅広い世代の皆さまを対象に、食品安全について楽しく学び、日常生活に役立てていただくことを目的として、パネル展示や展示内容を題材とした謎解き企画、関係府省庁によるミニ講座などを行います。

・「GOOD LIFE フェア 2026」（東京都）（9月25日（金）～9月27日（日））

・「マタニティ&ベビーフェスタ大阪2026」（大阪府）（10月24日（土）、10月25日（日））

・「SDGs 子ども・ユースフェア」（愛知県）（11月7日（土）、11月8日（日））

ご家族で楽しみながら食品安全への理解を深めることができる内容となっています。ぜひご来場ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/260910.html> (プレスリリース)

◇ 鳥獣被害対策やジビエ利用に係る優良な取組の募集について

農林水産省では、鳥獣被害防止や捕獲鳥獣の利活用（ジビエ等）に取り組み、地域や全国に貢献している個人・団体を募集しています。受賞者の取組は農林水産省ウェブサイト等で広く紹介されます。ぜひご応募ください。

- ・募集要件は、鳥獣被害防止やジビエ利活用などの活動を概ね5年以上継続している個人・団体とします
 - ・農林水産大臣賞（2点以内） ・農林水産省農村振興局長賞（6点以内）
 - ・都道府県推薦：10月30日（金）必着 ・アドバイザー等推薦：11月13日（金）必着
- 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、都道府県の鳥獣被害対策担当部署等へ提出してください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/260904.html>（プレスリリース）

◇「食育実践優良法人2027」の申請の受付開始について

農林水産省は、企業における食育活動を評価・認定する「食育実践優良法人2027」の申請受付を令和8年8月17日（月曜日）に開始しました。働く世代を対象とした「大人の食育」を推進するため、従業員の食生活改善や健康づくりに積極的に取り組む法人を広く募集し、その優良な実践事例の横展開を図ります。

申請期間：令和8年8月17日（月曜日）から10月30日（金曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260817.html>（プレスリリース）

◇ 全国の棚田に会いに行って応援しよう！「全国棚田行脚！キャンペーン」の開催について

農林水産省では、棚田を訪れるきっかけになることを願い、全国213の棚田を対象としたスタンプラリーを実施します。全国の棚田を訪問し、スマートフォンのGPS機能を利用してデジタルスタンプを集めることができます。集めたスタンプ数に応じて認定証の取得や景品への応募が可能です。たくさんのご参加をお待ちしております！

開催時期

令和8年7月15日（水曜日）から11月30日（月曜日）まで

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nihon/260710.html>（プレスリリース）

◆ 農林水産省補助事業の主な公募情報

- ・令和8年度（令和7年度補正）野菜種子安定供給緊急対策事業に係る第3次公募について
- なお、公募結果は公募事業ページの下段に掲載しています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html>（補助事業参加者の公募）

【審議会・検討会等の開催情報】

- ・令和8年度畜産環境シンポジウム（10月21日）

※ 主な会議等の開催情報としてお知らせしています。

これまでに公表された会議等の開催情報はこちらをご覧ください。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/event/kaigi.release.html>（会議等の開催情報）

《 お知らせ 》

○ 農林水産省ウェブマガジン aff（あふ）9月号の最新配信のご案内

aff（あふ）2026年9月号の特集は、「ジビエの新しい価値」です。

第4回の配信は、『発見!新たな野生鳥獣の価値』です。
捕獲された野生鳥獣は、皮革製品やペットフードなど様々な姿に変身しています。
命を無駄にしないための、資源利活用の最前線をご紹介します。
aff (あふ) の特集は、毎週水曜日の配信です。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

○ オンラインコミュニティ (みのりボイス) のランディングページの掲載について

みのりボイスは、農林水産省統計部が実施する水稻収穫量調査の精度向上のため、生育状況や病虫害、気象被害などの現場情報をリアルタイムで投稿・共有いただくオンラインコミュニティです。投稿された情報は統計調査の参考資料として活用されるほか、参加者同士が生育見通しや営農判断に役立つ情報を共有できる場となっています。

詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください

<https://minori-voice.maff.go.jp/lp/> [外部リンク]

《 日常的に活用できる情報 》

予算情報 みどりの食料システム戦略 食料・農業・農村基本計画
補助事業 MAFF アプリ 経営所得安定対策・水田活用直接支払交付金
米政策・麦・大豆 野菜・果樹・花き 茶・薬用作物・こんにゃく
収入保険 有機農業・環境保全型農業 農業生産工程管理 (GAP)
畜産 地域計画 就農情報・農業分野における外国人受入
スマート農業・農業技術・農業用ドローン 農林水産物・食品の輸出
インボイス制度 メールマガジン・ソーシャルメディア 農林水産統計
などのリンク先はこちらからご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/20230113_mailmagazine.html

《 近畿農政局滋賀県拠点からのお知らせ 》

◆ 近畿農政局滋賀県拠点メールマガジンをご覧の皆様へ

- ・ご意見・ご感想・ご要望などお待ちしております。
- ・当メールマガジンの登録内容の変更 (アドレス等)、配信停止連絡はこちらへ

e-mail : kinki_mailmaga_shiga@maff.go.jp

- ・「近畿農政局滋賀県拠点メールマガジン」の新規配信登録、バックナンバーはこちら
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/siga/index_2012.html

◆ 農政に関するご相談、ご質問は地方参事官ホットライン(滋賀県拠点)へ

近畿農政局滋賀県拠点では、農業者・消費者・行政・農業団体等の関係者の皆様から、農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などを地方参事官ホットラインで受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

電話 : 077-522-4261

https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/hotline_shiga2812.html

所在地 : 〒520-0044 滋賀県大津市京町 3-1-1 大津びわ湖合同庁舎 (6F)

近畿農政局滋賀県拠点地方参事官室

☆ 個人情報保護のため、農林水産省外の方へは bcc にて送信しております。